

令和4年度第2回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和4年10月21日
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度2回目となる意見交換会を開催しました。

- 1 日 時 令和4年10月6日（木）13:30～15:30
- 2 場 所 京都府農林水産技術センター畜産センター
- 3 出席者 消費者団体4団体9名
京都府（農政課、畜産課、農林水産技術センター畜産センター
中丹広域振興局農商工連携・推進課）9名

4 テーマ

- ・ 京都府の畜産物の安心・安全に関する取組について
- ・ 京都府農林水産技術センター畜産センターの概要と取組
- ・ 畜舎周囲消毒のための液状剤自動散布装置の開発

5 概要

(1) 主な質疑応答

- Q. 畜産センターにはどのような役割があるのか。
- A. 畜産農家の経営の効率化のための試験研究、乳用牛、肉用子牛と肉用鶏の種鶏を供給する機能もある。農家指導、畜産農家の技術指導等を行うほか、令和2年度から、将来の畜産人材の育成の場として、研修生を受け入れている。
- Q. 農家への指導するにあたり、具体的にどのように農家の方々と交流しているのか。
- A. 近年はコロナで開催できていないが、交流の場としては、畜種ごとに、府域での組合や農協の部会があるので、その総会等が開催された際に、講演して意見交換を行っている。また、畜産センターが主催の研修会も毎年、開催している。
- Q. 生産コストが上がっているが、価格に反映できているのか。また、京都府の補助等はあるのか。
- A. 光熱費の他に畜産では飼料代が高騰しているが、価格には反映できていない。国の基金事業等で一部補填もされているが、上昇したコストの全てを補うことができないので、畜産農家は苦慮している。
- 京都府では、自らが生産する餌を増やすための機械の導入経費の支援や農家の経営力を高めるための新たな取組に対する支援等を実施している。

(2) アンケート結果

ア アンケート平均点 4.3点（5点満点）

イ 主な意見・感想

- ・ 京都府の畜産に関する取組や課題、具体的な工夫を知ることができた。
- ・ 食の安全のために努力していることを、もっと広く府民（消費者）に広報してほしい。
- ・ 生産現場で詳しく説明を聞きながら理解がととても進んだ。家畜伝染病等の発生予防について、日々、努力していることが良く分かった。